

## これだけは覚えよう！重要ポイント

展開図 立体の表面を平面に開いた図

組み立て 展開図を折ると元の立体になる

辺の対応 組み立て時にくっつく辺の長さは等しい

Q. 展開図とは？ 立体の表面を切り開いて平面に広げた図。組み立てると元の立体に戻る。

## ① 展開図の意味

定義

立体の辺に沿って切り開き、平面に広げた図。複数パターンある場合も。

切り方によって形が変わる

## ② 正方形の展開図

例

立方体の展開図は11種類ある。十字型などが有名。

立方体 → 11種類

## ③ 辺の対応

重要

展開図で離れている辺でも、組み立てるとくっつく辺がある。長さは等しい。

くっつく辺の長さ = 等しい

## ④ 面の向き

注意

組み立て後、どの面が外側（表）になるか考えることが大切。

展開図の裏表に注意

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 一種類だけと思う

✖

展開図は1つだけ

○

切り方によって複数ある

立体によっては展開図が複数パターンある。

## ⚠️ くっつく辺を間違える

✖

近くにある辺同士がくっつく

○

実際に組み立てて確認

離れた辺がくっつくこともある。想像力が必要。

## 最終確認チェックリスト

- 展開図の意味を理解したか？
- 立方体の展開図のパターンを知っているか？
- くっつく辺を見つけられるか？